

かべ新聞

第147号

2022年
2月25日

JR東海労働組合
新幹線地方本部
東京車両所分会

春闘、第1回団体交渉開催される！ 皆さんはどちらの主張に賛同しますか！

2月22日、JR東海労と会社の第1回団体交渉が開催されました。組合側は、賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求の趣旨を述べました。会社は、新賃金及び夏季手当交渉を開始するにあたり、基本的な考え方を述べました。

JR東海労の要求主旨

- ・オミクロン株の出現により新型コロナウイルス感染症が爆発的に拡大している中で組合員・社員は感染症に怯えながら奮闘している。
- ・しかし、会社はその奮闘に報いることなく、ボーナスを3期連続2.2ヶ月という低額に抑えこんだ。
- ・一方、役員報酬は、わずかな自主返納で高額な報酬を維持している。
- ・リニア中央新幹線建設を進めていることからすれば、組合の要求に応える経営体力は十分にある。

会社の考え方

- ・経営状況は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として極めて厳しい状況が続いている。
- ・当社を含む鉄道業などの一部業種が受ける新型コロナウイルス感染症によるマイナスの影響は他業種に比して極めて大きいことにも留意する必要がある。
- ・諸手当を含めた賃金水準は世間的に見ても既に高いレベルに到達している。
- ・昨年同様これ以上月例賃金を改善する余地はなく、夏季手当についても厳しい判断とならざるを得ない状況ですが……真摯に幅広く議論していく。

**新型コロナウイルス感染が拡大する中で奮闘している
組合員・社員の苦労に見合った賃金を獲得しよう！**